

# 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）

島本町教育委員会

## 調査対象・時期

調査対象 小学校5年生

調査時期 令和3年4月～7月の間に各学校において実施 ※令和2年度は調査を中止

## 実技集計結果（小学校・男子）

小学校 5年男子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R3全国	16.2	50.0	18.9	50.0
R3島本町	17.3	52.8	17.8	48.2
R1島本町	16.4	50.0	17.5	46.1

小学校 5年男子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R3全国	33.5	50.0	40.4	50.0
R3島本町	31.8	48.1	39.7	49.2
R1島本町	31.3	47.6	37.9	45.2

小学校 5年男子	20mシャトルラン(回)		50m走(秒)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R3全国	46.8	50.0	9.5	50.0
R3島本町	43.1	48.2	9.2	52.7
R1島本町	50.1	49.9	9.6	48.0

小学校 5年男子	立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R3全国	151.4	50.0	20.6	50.0
R3島本町	149.5	49.2	22.4	52.2
R1島本町	144.1	46.6	20.1	48.2

小学校 5年男子	体力合計点(点)	
	平均値	T得点
R3全国	52.5	50.0
R3島本町	52.3	49.8
R1島本町	49.8	45.9

< T得点 >

全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。

## 実技集計結果（小学校・女子）

小学校 5年女子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R3全国	16.1	50.0	18.1	50.0
R3島本町	16.6	51.3	16.5	47.0
R1島本町	16.5	51.1	17.1	46.5

小学校 5年女子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R3全国	37.9	50.0	38.7	50.0
R3島本町	37.1	49.1	37.8	48.8
R1島本町	37.3	49.6	36.5	44.8

小学校 5年女子	20mシャトルラン(回)		50m走(秒)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R3全国	38.2	50.0	9.6	50.0
R3島本町	34.2	47.5	9.5	51.4
R1島本町	38.6	48.6	9.8	47.6

小学校 5年女子	立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R3全国	145.2	50.0	13.3	50.0
R3島本町	144.2	49.5	13.7	50.8
R1島本町	138.9	46.7	11.8	46.2

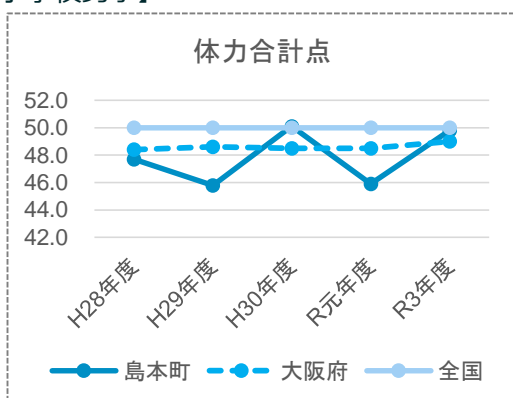
小学校 5年女子	体力合計点(点)	
	平均値	T得点
R3全国	54.6	50.0
R3島本町	53.8	49.0
R1島本町	52.4	46.4

<T得点>

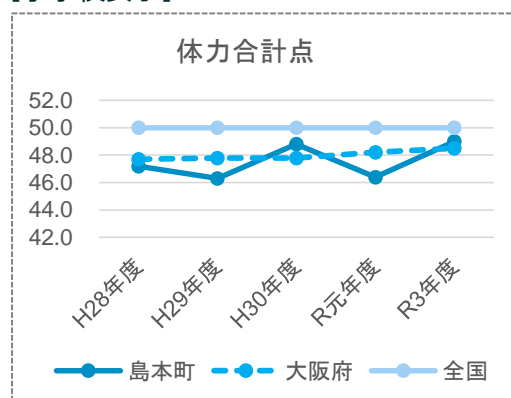
全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。

## 結果の概要（小学校） 体力合計点の経年比較（T得点【全国50とした比較値】）

【小学校男子】

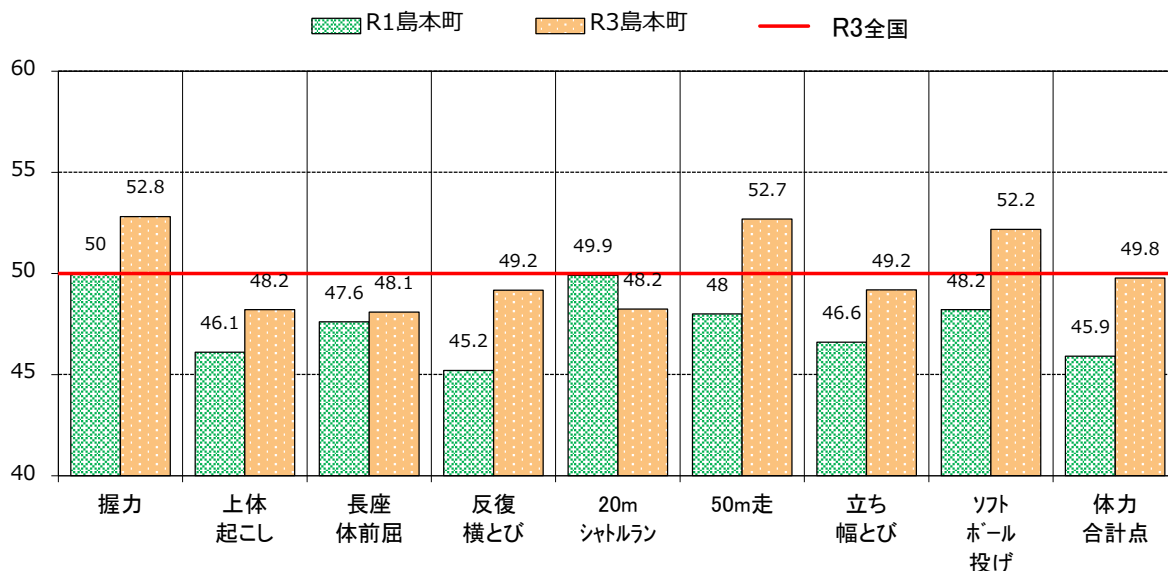


【小学校女子】



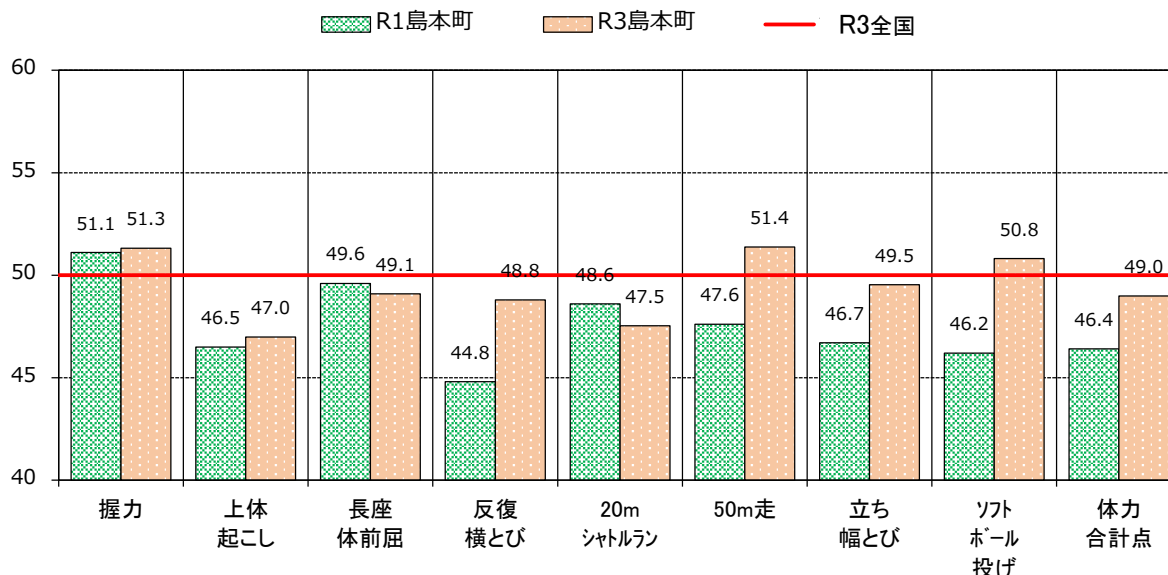
年度	小学校男子			小学校女子		
	島本町	大阪府	全国	島本町	大阪府	全国
H28年度	47.7	48.4	50.0	47.2	47.7	50.0
H29年度	45.8	48.6	50.0	46.3	47.8	50.0
H30年度	50.1	48.5	50.0	48.8	47.8	50.0
R元年度	45.9	48.5	50.0	46.4	48.2	50.0
R3年度	49.8	49.0	50.0	49.0	48.5	50.0

小学校男子 T得点【R3年度全国を50とした比較値】



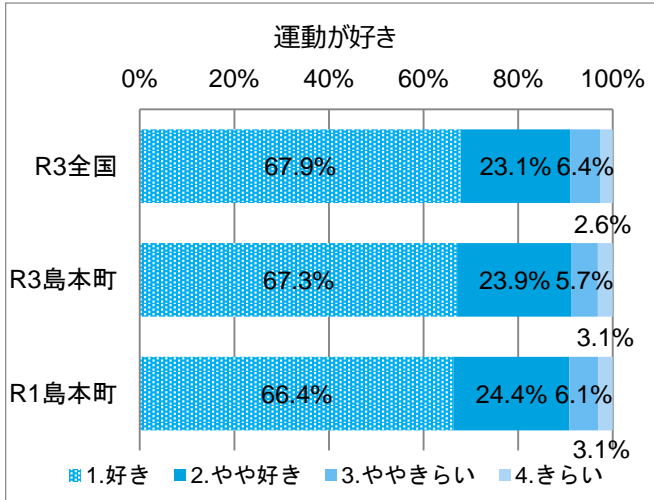
- 体力合計点におけるT得点は、島本町は【49.8】で、全国とほぼ同値。令和元年度【45.9】から伸びている。
- 種目別では、「握力」「50m走」「ソフトボール投げ」で、全国より高い結果となった。また、令和元年度と比べると、「20mシャトルラン」以外の7種目で、T得点が伸びている。⇒【成果①】
- 令和元年度に課題としていた「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」の3種目においても、全国平均（50）に近い結果となった。
- 「20mシャトルラン」のT得点が令和元年度よりも低い結果となった。⇒【課題①】

小学校女子 T得点【R3年度全国を50とした比較値】



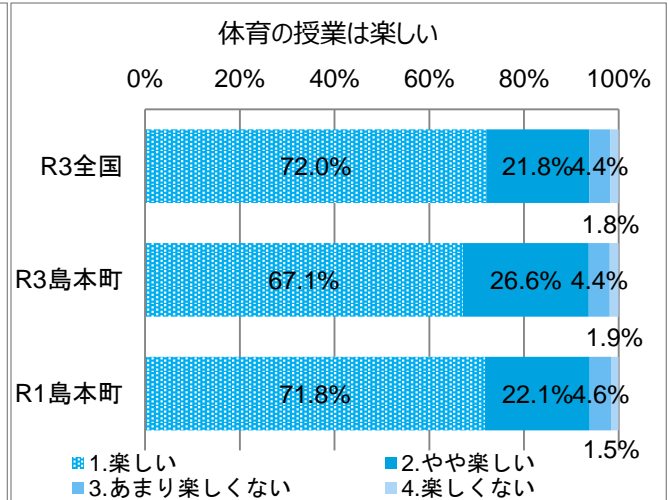
- 体力合計点におけるT得点は、島本町は【49.0】で、全国よりもやや低い。令和元年度【46.4】から伸びている。
- 種目別では、「握力」「50m走」「ソフトボール投げ」で、全国より高い結果となった。また、令和元年度と比べると、「長座体前屈」「20mシャトルラン」以外の6種目で、T得点が伸びている。⇒【成果①】
- 令和元年度に課題としていた「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」の3種目も伸びているが、「上体起こし」については、全国平均（50）よりも低い結果である。
- 「長座体前屈」「20mシャトルラン」のT得点が令和元年度よりも低い結果となった。⇒【課題①】

## 運動習慣等調査（小学校・男子）



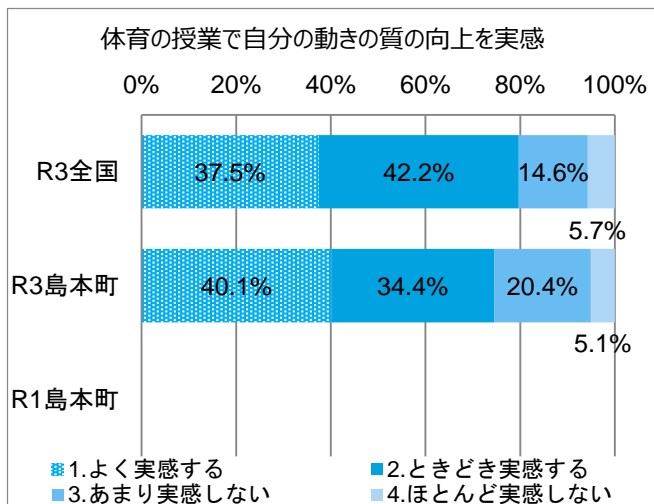
「運動が好き」に関しては、「好き」「やや好き」の回答が全体の90%以上であり、全国と比較してもほぼ同じであるといえる。  
また、令和元年度と比較しても、結果に大きな変化は見られない。

⇒【成果①】



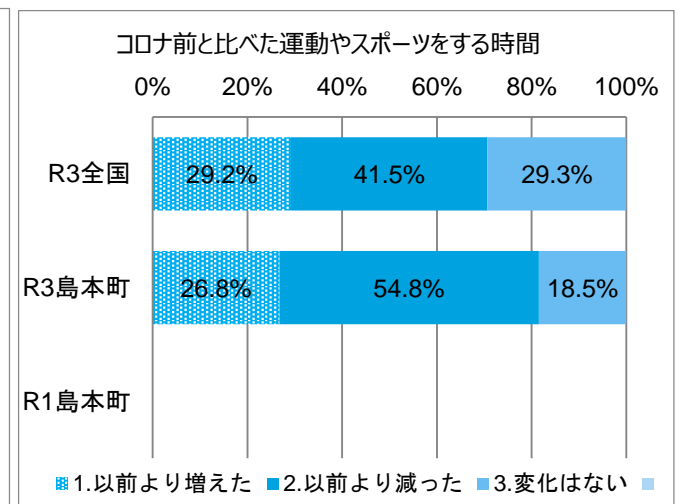
「体育の授業は楽しい」に関しては、「楽しい」「やや楽しい」の回答が全体の90%以上であり、全国と比較してもほぼ同じであるといえる。  
また、令和元年度と比較しても、結果に大きな変化は見られない。

⇒【成果①】



「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感する」に関しては、「よく実感する」の回答が全体の約40%で、全国よりも高い結果となった。  
令和元年度は、この質問項目は実施されていない。

⇒【成果②】

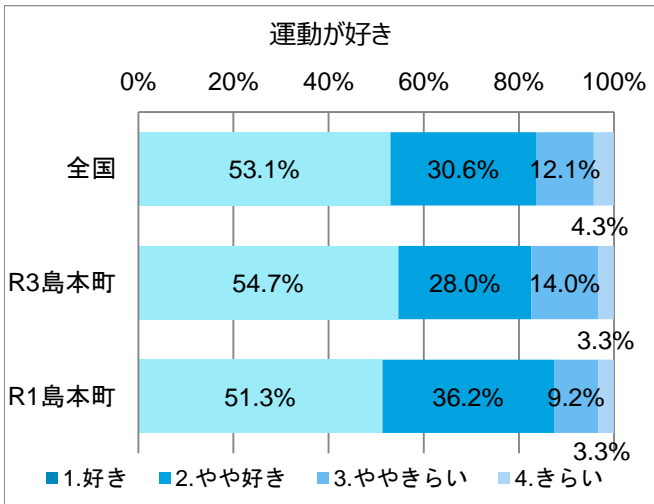


「コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間」に関しては、「以前より増えた」の回答が全体の約27%で、全国よりも低く、「以前よりも減った」の回答が全体の50%以上という結果となった。全国よりも「減った」という回答が14%も高くなっている。

令和元年度は、この質問項目は実施されていない。

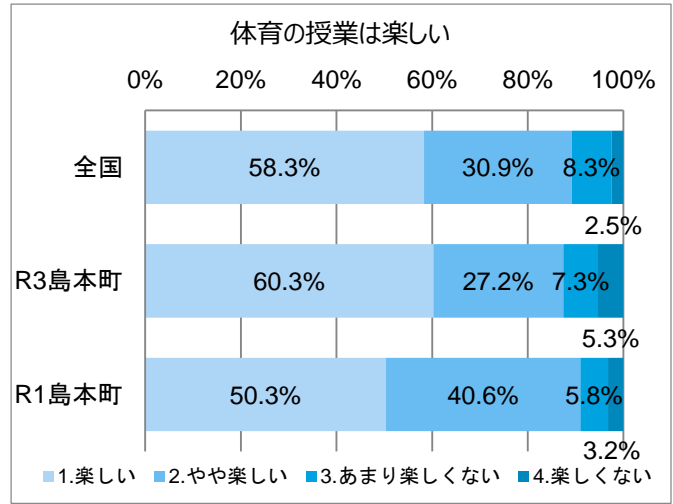
⇒【課題②】

## 運動習慣等調査（小学校・女子）



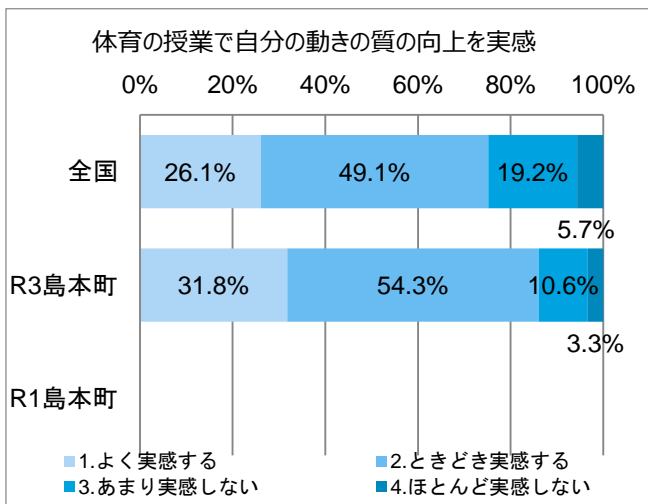
「運動が好き」に関しては、「好き」「やや好き」を合わせた回答が全体の80%以上であり、全国と比較してもほぼ同じであるといえる。  
令和元年度と比較すると、「好き」「やや好き」の割合は減少している。

⇒【成果①】



「体育の授業は楽しい」に関しては、「楽しい」「やや楽しい」を合わせた回答が全体の85%以上であり、全国と比較してもほぼ同じであるといえる。  
令和元年度と比較すると、「楽しい」「やや楽しい」の割合は減少している。

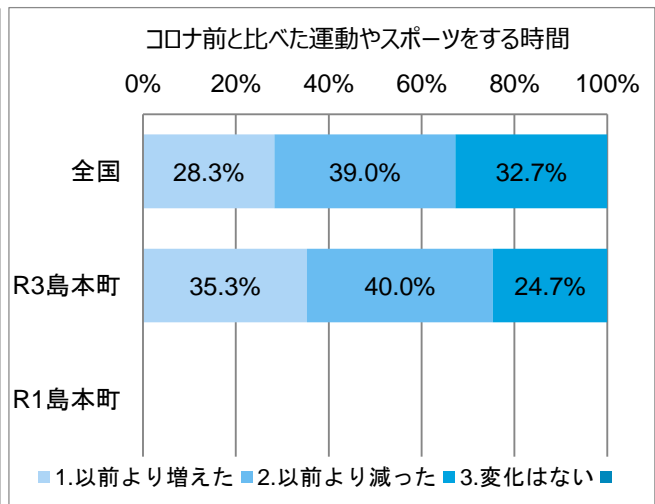
⇒【成果①】



「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感する」に関しては、「よく実感する」「ときどき実感する」を合わせた回答が全体の約85%で、全国よりも高い結果となった。

令和元年度は、この質問項目は実施されていない。

⇒【成果②】



「コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間」に関しては、「以前より増えた」の回答が全体の約35%で、全国よりも高く、「以前よりも減った」の回答が全体の約40%で、全国とほぼ同じであった。

令和元年度は、この質問項目は実施されていない。

⇒【課題②】

# 調査結果の分析と今後の方策【小学校】

## 分析

### 【成果①】

- ・令和元年度と比べて、男女ともに体力合計のT得点が伸びている。また、「運動が好き」「体育授業が楽しい」の肯定的回答が、高い割合を維持している。これらの結果は、コロナ禍においても、感染予防対策を講じながら、体力向上に向けた授業を展開してきた成果であると考えられる。

### 【成果②】

- ・「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感する」の肯定的回答が、とくに女子で高い割合であった。これは、体育の授業における運動量の確保と、指導者からの基本的な動作（投げる・跳ぶ等）が身につくような指導が充実している成果であると考えられる。

### 【課題①】

- ・令和元年度と比べて、「20mシャトルラン」が男女ともに低い結果であり、持久力に課題があると考えられる。また「長座体前屈」が、女子で低い結果であり、身体の柔軟性を高めることが課題であると考えられる。

### 【課題②】

- ・「コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間」において、「減った」と回答した男子が50%を超えており、全国よりもかなり多い割合であった。体育の授業以外で運動する機会が減少していることが原因であると考えられる。

## 今後の方策

### ① コロナ禍でも「運動量の確保」と「基本的な動きを身につける指導」を継続する。

⇒感染予防対策を講じた上で、体を動かす場面を多く取り入れた授業づくり、個々の児童が「できる喜び」を感じられるように、発達段階を考慮し、場の工夫やスモールステップの授業づくりを行う。

### ② 体育の授業以外でも運動する機会をつくる。

⇒児童委員会を主体とした取組を推進する。例えば、「学校内にある遊具を使った遊びの紹介や運動環境づくり」「異学年での運動実施」等を通して、児童が運動する機会を増やし、身体の柔軟性と持久力の向上を図る。

### ③ 「体力づくり推進計画」の作成・見直し

⇒学校全体で計画的な体力づくりの指導を推進していく。